

平成26年度 第2回 米子市図書館協議会・会議録（概要）

○日 時 平成26年12月25日 木曜日 午後2時から午後3時半

○場 所 米子市立図書館 研修室（2階）

○出席者 委 員

渡邊 眞子、勝部 将之、小林 千春、根平 仁史、今出コズエ、鷺見 裕貴、

辻谷 由美

事務局

（米子市立図書館）木下館長、伊藤主査

（米子市教育委員会）北尾教育長、平木事務局長、永見生涯学習課長、幡井課長補佐、

○欠席者 倉光信一郎、大江 忍

○傍聴者 無し

○報道関係 無し

【協議会の概要】

○開 会

事務局より開会

○会長挨拶

○委員挨拶

各委員自己紹介

○教育長挨拶

事務局

これからの議事進行については渡邊会長にお願いします。

渡邊会長

まず1番の平成26年度事業実施報告についてお願いします。

木下館長

平成26年度事業実施状況報告について 資料1を説明・報告

リニューアル後の図書館の利用状況について 資料2を説明・報告

渡邊会長

資料2まででご質問ありますでしょうか。

視察6団体、見学12団体というのは県外もありましたか。

木下館長

視察は県外の方が多いです。見学は小学校とか幼稚園とかが多いですがその他に公民館というものもありました。小学校2年生の社会科見学ということで図書館に来ていただいた学校がいくつもありましたし、幼稚園でも館内の見学と移動図書館車を見学して喜んでいただいたり、最後におはなしのへやで職員が読み聞かせをするというような流れでの見学もありました。

渡邊会長

見学のときに子どもさんに図書館の規約とか使い方を説明されるのでしょうか。

木下館長

マナーということでしょうか。

渡邊会長

そこが今問題になっているところがあるので。

木下館長

そういったお話もさせていただいています。

渡邊会長

図書館に足を運んでくださった方にはそういうお話までしてくださっているんですね。

木下館長

子どもさんが対象ですが、後にも出てきますが、子どもさんの利用が非常に増えておりまして、児童図書室が賑やかになるという点もありますので、職員の方も声を掛けていってマナーも守っていただくようにしていかなければいけないと思っております。

渡邊会長

県外の視察はどの辺りから来ておられますか。

木下館長

静岡県伊東市、滑川市、雲南市など遠いところから来ていただいています。新しくなった図書館を見に来られる場合と、米子方式の視察にという場合と両方あります。

渡邊会長

図書館大会の全国大会に出たときに、千葉県とか神奈川県の方たちが見に来ておられます。6団体と言われたのもっと来てるはずだと。

木下館長

6団体は視察に来ますということで、研修室でパワーポイントを使ってご説明もして館内も案内してという数です。何かの会のときに立ち寄ったというような場合には含めておりません。

渡邊会長

リニューアルされた米子市立図書館がいかに注目されているかということでお知らせまでです。
では次をお願いします。

木下館長

利用者アンケートの実施について 資料3を説明・報告

渡邊会長

これに関しては皆さんそれぞれご意見をお持ちだと思いますので、忌憚のない意見交換により良い図書館に向けて反映できればと思いますので遠慮なく。

利用者マナーの関係のところ、絵本の会ほしのぎんかのおはなし会で多いときは1回80名くらい、少ないときでも5、60名前後です。その中で最近の若いお母さん達は自分の子どもが本を見ている雰囲気になんか幸せを感じているのか、勝手に写真を撮り始める。違うでしょと思うんですね。もっとひどいお母さんになると自分の子どもが聞いてなかったらほったらかしている。それを「いい子になったらまた入っておいでね。」と言うと「うちの子いつもいい子です。」って叱られるんです。ちゃんと親になった気持ちで図書館マナーをお母さん達に優しく伝えていっているんです。残り70名くらいはいい子でお母さんやおじいちゃんおばあちゃんの膝の上でゆったりと聞いてくださってる。カシャカシャ音も気になる。泣いている子

は放っておく。よその子の髪の毛を引っ張ってもごめんも言わない。このマナーというのはその人たちの子どもの育ち方があると思うので、どこまで口を出していいかわからないので困っている1つです。言わなかったらそのまま保育園や幼稚園に上がってしまうので、心を鬼にして言っています。それで来なくなったお母さんがあるかもしれないけど、言ってもらって初めてすみませんでしたと言ってくれる親もあるので、そこはみんな地域の子どもの育てていけないといけない。最近のマナーの悪さを感じています。見ていただいたら分かるんですけど、80名来ていようがきちんと靴がそろっています。私達がそろえることにしたので、みんなそろえてくれます。それを初めての子どもは面白いから靴をボンボン投げていきます。それはまた言わないといけない。それを繰り返しながら地域の大事な子どもたちを育てていきたいなと思います。ここにうるさいとかいろいろ出ているんですけど、その辺の対応が何か出来ればいいなと思います。子どもは騒ぐもの、おはなし会の声は漏れて仕方がないかなと。補足で言わせていただきました。設備関係のテラスを使えないというのは利用者からだと思うんですけど、おはなし会をここでさせていたいただきましたらお子さんにもお母さん達にもすごく好評で、また天気の良い時に利用していきたいなと思っています。

予約をしても忘れた頃に連絡がある、4ヶ月待ちとか、借りたい本がいつも貸出中とか。結局蔵書が足りない、本が足りないというのが最大の理由の1つだと思います。学校に持って行きたい本をリクエストかけても借りた人が期限内に返してくれない、この辺はどうでしょうか。返却日を守ってくれているんですか。

木下館長

返却日についてはこちらからも督促だったり、電話に出られない場合は留守電に残したりしております。さらに連絡がつかないとハガキでもしております。

伊藤主査

督促は常時しております。時間帯によってはなかなか繋がらないおうちもありますので、繋がりにくいところは遅い時間に遅番の職員が督促させていただいています。予約の待ちがとても長いという点についてですが、同じ本、例えばベストセラーなんかですと予約が何十人も、7、80人も殺到することがあります。そういうものに関しては最高同じ本を5冊買うのが精一杯という状況です。ベストセラーについては5冊までは買って対応しようということですが、それを上回る予約がかかるということでお待たせしている状況です。

渡邊会長

7、80人は全国の統計でも当たり前のようで、だいたい200人位予約が入るそうで、多いところでは50冊くらい買われるというデータも出ているようですが、予算の中ですので。もう1つ気になるのが、出入口が音が出るようになって、無くなる本は減りましたでしょうか。

木下館長

後で蔵書点検のこともご報告しようと思っていたのですが、今お話が出ましたので併せてさせていただきますと、10月に10日間蔵書点検のために休館いたしました。所在のわからない不明本はその時に184冊ありましたが、その後返却されたり場所が違っていたものなどもあり、11月末現在では120冊です。ゲートで「カウンターまでお越しください」というお知らせが鳴るのですが、これはうまく貸し出し処理が出来ていないのにそのまま行ってしまわれるケースです。職員が追いかけて行ったりするのですが、全員利用者に対応していて追いかけれない場合もあります。そういった時は後で普通に返却されたりということもありますので、全部が無くなってしまうということではないです。H22のときのデー

タですと、これは1年間だけの数字ではありませんが、約1500冊ということがあったようです。ICタグを貼り付けICゲートを取り付けたことにより不明本の冊数は減っているということは言えると思います。

渡邊会長

市役所の駐車場が使いにくいという意見がありますが、図書館側にも伝わっているのでしょうか。おはなしのへやだけに関して言いますと、3人くらい子どもさんを連れて来られるお母さんは、雨の日が一番大変だと言われる。おんぶに抱っこで来られるので。でもそのところを使おうと思っても埋まっているケースが多いので、前々からここを建てていただく時にお年寄りも含めて駐車場はそのうち問題が出てきますよと言っていた中の意見じゃないかと。

木下館長

ハートフル駐車場とか車いす用の駐車場は台数が限られますので、子どもさん連れの来館者の方が皆さん使えるほど十分ではないと思います。駐車場の中でも比較的図書館側に近い場所が空いていて停められれば一番いいとは思いますが、時期によっては駐車場自体が満杯で遠くに停められないといけない場合もあると思います。

今出委員

米子市立図書館向上のために、教育長さんがおっしゃいましたけど、いろいろ努力しておられるということをおもひながら思います。今日出されたアンケートについて、利用者に対して回答者数というのはどんなものかなと。今後このアンケートをどう利用していくかが非常に重要だと思うんですよ。2、3年に1度は取ってくださいというのがありましたけど、実際みんながどう思ってどうしてほしいかということを受け入れてこそみんなの図書館になる。利用している人だけがアンケートに出ていますので、利用していない人の声をどう聞き取るか。アンケートを取るとその整理をするのが大変だと思うんですよ。そうするとどれくらいの利用者に対してそれくらいの人数を取ればいいのか出てくると思います。前にここで会があったとき、広報の話が出まして市報にも載せていただいてありがたいと。お願いしたことがすぐ表れるようになってると言って良かったとか。アンケートを取られた方も、何かやられると言って良かった、表現して良かったということになるということになると思います。マナーについてですが、日曜日なんかにぎやかで楽しそうでいいと思うんですけど、でも本気に本を読みに来ておられる方はうるさいだろうなという気もするし、近頃は幼稚園がそばに建つと嫌だとか人間が変わってしまったところがある。その辺のマナーについては図書館の人だけでは無理だと思いました。広報の中にでも、すぐに怒る人もいるけどみんなの図書館だよとわかるように言えるようになるといいなと思います。

根平委員

このアンケート結果は市民に対してこういう声があったのでこういうふうに変更とか、これについてはお願いとかはされますか。

木下館長

館内に置いています。結果を広報はしていませんが見ていただけるように図書館1階に置いて見ていただけるようにしています。

渡邊会長

これは市民の利用者の言いたい放題だと思うんです。貸出しをしてくださる図書館側から市民、利用者にマナーを望むところはあると思うんですよ。言い放しで。時計を増やして欲しいというのがありますが、17台もありますよ。図書館側からも貸出しについてとか図書館の利用に関してぜひこういうマナーを守って欲しいということがあって初めて反映されると思うのでアンケートを取られるときには工夫が必要だと思います。

木下館長

今回右側にコメントを載せさせていただいたのは、意見や要望だけではなくて、図書館としてはこうしていますなどの対応等についても載せられたらということです。できることもできないこともありますし、そうではないんだということもありますので、お伝えしていけたらいいと思います。

渡邊会長

インターネット環境のところで、前回私も提案したんですけど、実感したのが図師照幸さんの講演会のときにインターネットに接続してもらえませんかと言われたけど接続できなかった。ある方が自分のiPhoneで出してそれを飛ばそうとされたけど、ワイファイの接続が不可能でできなかった。それは1つの例で挙げられます。それから国際交流の講演会のときに外国人の方に説明するときにインターネットを使って説明しようとしたらワイファイが繋がっていなかったのでできなかったという2点がありました。図書館を利用される方がだいたいの方がスマートフォンになっておられる。それでできるんじゃないかと言われたんですけど、年配の方やそうでない人は図書館でインターネットが使えない。資料と一緒に平行してその環境でどういう形ができるのか。ワイファイがあると便利だと思います。全国でも加速化していますので、意見として予算が取れたら図書館の中でできたらありがたいなと。

鷺見委員

最初に教育長の方からリニューアル後の図書館のあり方として図書の充実っていうのがありました。図書の充実ですけど鳥取県は全国で一番小さい、財政がない、米子市は県庁が無いんでどうしても絶対に本のスペースが少ない。そうするとどんな本を読むべきかということが問題になってくる。資料を見ると日本文学、外国文学とかいろんなのが出てきますけど、これを全部網羅するのは不可能だと思います。じゃあどんな本がいいのかというと21世紀は20世紀よりちょっと悪くなっていると思います。それは資本主義がおかしくなっていると思います。20代、30代、40代の方が生き延びるためにはいい本を読まないといけな。そういう本を米子市立図書館の方で積極的に購入してほしい。私も米子市立図書館の本は1ヶ月に2、3回は利用させてもらって読んでいます。新しく入った本のリストが出されていますけど、正直言って私は読みたい本があんまり無いんです。中にはいい本があると思いますけど、かなりの割合でどうでもいい本があると思います。それはちょっと違うんじゃないかという意見があるかと思いますが、個人的にはこの本は買わなくてもいいんじゃないかと。他に買うべき本というのは、既に出ている本でちょっと高めの本を無理してでも買って、そういった本を別のコーナー作り「21世紀を生き延びるための本」という形で200冊、300冊位1箇所に集めて20代、30代、40代の人に読んでいただきたいと思うんです。だから文学書とか歴史書とかエッセイとかを少し整理処分して空きスペースを作って、ぜひ「21世紀を生き延びるための本」というのを作っていただきたいんです。ここに松本正剛さんの千夜千冊虎の巻というのを持ってきてまして、私は別にファンではないですけど、全7巻、別冊入れると8ですが定価が10万円ほどになります。米子市立図書館にこういった本が無いんですよね。1ヶ月分で買えるんじゃないですか。ようは図書館の充実ということで、充実といっても全部はできませんので、米子地方、伯耆の人間として21世紀を生き延びるための知の拠点としての本ということでコーナーを作ってもらったらどうですかということでよろしくお願いします。

小林委員

蔵書に関しては、アンケートを見る限りでは、個人的に読みたい本を好きなだけ挙げておられるので、それにいちいち対応できませんよね。公的な図書館のあり方としては、今、書店さんなんかは品揃えが増えて多種多様な読み物もたくさんあって、図書館かと思うくらいの物がありますけど、なかなか自分の手には取れないような物が図書館にはあって、ちょっと調べたいけど普通の書店には無いから図書館

に行ってみようというふうに。この前私は郷土資料なんかとても助かったんですけど、そういうような図書館のあり方っていいですか、一般の方々に迎合していく必要は無いんじゃないかなと思いました。こんな本が欲しいとおっしゃってる全部が全部どうなのかなっていう感じを受けました。どんな本が必要ですかとアンケートを取られるのも親切だなと思ってみました。

木下館長

郷土関係と言われたんですけど、郷土の方が出された本、郷土に関する本は米子市立図書館で残さなければならぬと思っていますので、出来るだけ漏れの無いよう購入するよう心がけています。それ以外の部分につきましては、皆さんそれぞれこのジャンルがいいという部分がありますので、予算もありますがバランスよく、また、貸し出しが伸びている分野などを見ながら購入していかなければいけないと思っています。

勝部副会長

アンケートのマナーについてですけど、店に連れて行くのと図書館の読み聞かせに行くのと違うんですよね。読み聞かせにあるいは図書館に行くときにはその子どもにとっては絶好の場。親にとってもついて来られた大人にとっても絶好の場だと思うんです。ここは公共の場だからこうだよという言い方ができる一番いいときなんです。それでその子どもは将来困らない。あるいは損をしないということになっていくんだと思うんです。だから学習発表会、学芸会のときに小さな妹や弟なんかも来ますよね。最初にここはこういう発表があるので見方を教えてくださいねということが言える場所。言うのがなかなか難しいとこなので広報誌に載せるだとか開会の挨拶に入れるだとか。良い子どもがいたらほめる。ほめることによって自分のうちの子どもはどうかというのもあると思います。アンケートの結果の見方をどうするか。図書館がアンケートを取られて、1人ひとりが自分のこととして受け止められるかで次のことが出来ると思います。偏った意見ばかり出るとそれに左右されるということもあります。

渡邊会長

アンケートが出るという受止められるのでありがたいと思うので今後もよろしくお願いします。その他ないようでしたら次に進みます。

木下館長

その他ですが、先ほど蔵書点検の話をしたんですが、その時におおよその在架率が出ました。それはどの場所でどの位の割合で貸出しになっているかがわかるものですが、少し紹介しておきますと、ビジネス支援コーナーの本は約35%貸出しになっていました。児童書は約25%、CDなどの視聴覚資料は約30%が貸出しになっていました。全体では約25,000冊の本が貸出しになっていました。視聴覚資料につきましては今後も増やしていきたいと思っておりますが貸出しも多いということがわかりました。

また、前回の協議会で今年度導入予定とお話しました「国立国会図書館のデジタル化資料送信サービス」ですが、これは国立国会図書館がデジタル化した資料のうちインターネット公開されておらず、絶版等の理由で入手困難な資料約131万点の資料を利用できるものです。現在手続きは終わり、来年に入ってからテストをしたのちに利用者の皆さんにご案内する予定です。以上です。

渡邊会長

図書館からの報告は以上ということですが、皆さんから何かありますでしょうか。

鷺見委員

しつこいようですけど、図書の充実ということですけど、言いたいことは米子市立図書館としての個性を出しましょうということ。私も月2回ほど来ているいろんなコーナーを見てますが、ここのコーナーはつまらないなというのもあるんですよね。語学にしても中国とか韓国とか出ましたけど、ヨーロッパの言語

とか揃ってますけど、英語の本は書店に行ったら参考書とかたくさんありますので英語の本なんか無くても。英語の定評のある本、ロシア語、中国語、韓国語、インドネシア語など東南アジア系統の本を増やしてヨーロッパ系統の本は1冊だけでもいいかなと。極論かもしれませんがあまり広げすぎると借りる人はいないと思います。図書館がわざわざ購入しなくてもいいような本もあります。娯楽関係の本で囲碁とか将棋の本がありますが、これもちょっとありすぎるなと思います。定評のある本だけ置いておいてもっと別の娯楽の本を置いて。あまりにもアンケート主義によって利用者の人が自分で書店で買うのが嫌なものだから図書館に買わせるというような感じがありますので、むやみに似たような本は買わなくて、借りる人は少なくともこれはいいという本を増やして米子市立図書館の個性化を図って欲しいと思います。個人的な意見をわざと言わせてもらいました。

渡邊会長

5番のその他お願いします。

永見次長

今後、米子市立図書館の管理運営体制について、より市民の、利用者のサービスの向上、満足度を高めるための運営体制について、図書館協議会にご意見を伺っていきたいと思います。

渡邊会長

長時間になりましたがありがとうございました。

閉会